

厳しい中小業者を取り巻く情勢

長引く物価高騰は中小業者の経営と家計に重くのしかかっています。そんな中、自民党議員による「政治とカネ」の問題は、確定申告に真摯に向き合う納税者の申告・納税意欲を減退させ、税務署の申告会場では怒りの声が各地で上がりました。

そして4月…消費税が導入されて35年、インボイス制度が始まって半年、**税務相談停止命令制度**を追加した改定税理士法の施行。と中小業者を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。

今後、政府は電気代の補助を打ち切り、再生可能エネルギー賦課金を増額します。さらに国民年金保険料をはじめ、社会保険料の値上げなど、国民の負担増ばかり企んでいます。「増税メガネ」と揶揄されることを嫌った岸田総理が、唯一こだわった

「**定額減税**」が6月から実施されますが、これもまた複雑な事務負担が付きまとい、減税効果の薄い愚策としか言いようがありません。

声を上げたら、変わった?!

昨年10月に始まったインボイス制度と、1月から完全施行された電子帳簿保存法は、導入前から煩雑すぎる事務負担や、実際の商慣習との乖離に不満の声が上がっていました。

民間調査会社のアンケートでは企業の経理担当者の8割が「手間が増えた」、「領収書の4件に1件は不備がある」と回答しており、政府の周知徹底とは程遠い状況です。

国税庁には細かな問い合わせが今も数多く寄せられ、導入後も月1回、Q&Aが更新。インボイス制度は導入当初よりも要件が緩和されています。

税の三原則「公平・中立・簡素」からも逸脱するような税制。「おかしい」「変だ」と国民が声を上げ続けることで変えられるということです。

STOP! インボイス 今後の活動予定

04/25 (木) 11時～ インボイス制度の中止を求める税理士の会・国会決起集会 開催!

〇紙の署名「インボイス制度の中止・廃止を求める請願」 6月上旬まで集めます

オンライン署名は567,000筆を超えましたが、紙の署名も並行して取り組むことになりました。

皆様のご協力をお願いいたします。

今年は「怒り心頭」の確定申告

「国民には増税、自分たちは脱税とは何事か!!」と怒りが渦巻く中、第55回3.13重税反対全国統一行動を実施。

浜田民商、江津民商、年金者組合、農民連は合同集会をサンマリン浜田で開催。

集会参加者からは「裏金問題は許せん」、「日々の食品の買い物が本当に大変になった」と切実な発言もありました。

集会後、浜田税務署へ移動し、税務署長へ不公平な税制を正すよう申し入れを行い、集団申告を行いました。



STOP! インボイス

& 消費税減税を!

インボイス制度反対の声が広がるにつれ、そもそも消費税に問題があると気付く人が増えています。

物価上昇が続き、所得が追いつかない状況では「消費税をやめて」「減税するなら消費税を!」という世論調査結果もあります。

一方「消費税は預り金だ」「社会保障のために必要だ」と誤解している方もまだまだいます。また、経済界、輸出大企業などは「消費税率15%へ早期に引き上げるべき」と自分達の都合の良い提言をしています。

過酷な消費税とインボイス制度は経済回復の足枷にしかありません。**税金の在り方と使い道を正し、大企業優遇の税制ではなく、中小業者や国民一人一人が安心して暮らせるよう、これからも声を上げ続けましょう。**